

昭和35年12月20日第3種郵便物認可
発行所
F104-0045 東京都中央区築地5-2-1
東京都中央卸売市場内
株式会社 日刊食料新聞
電話(直通) 東京03(3541)7250#0
場代表 03(3542)1111 内線 6911~6914
FAX 03(3541)7703
郵便振替口座 00170-3-57413

日刊食料新聞

青果・花き版

THE NIKKAN SHOKURYO SHIMBUN

<http://www.nikkan-s.co.jp/>

平成15年 2003年

5月9日

【金曜日】

©日刊食料新聞2003年

日刊(土日・祭日・休市日休刊)

第14370号

花き3社が設立

仕入れ・決済・物流

北関東コンソーシアム協議会

北関東及び東北部の花き卸売会社である「群馬県中央園芸」(相馬正一・社長)「福島花き」(阿部勲・社長)「茨城県水戸中央花き」(佐藤清純・社長)の3社は8日、都内のホテルで記者会見を行い、「北関東コンソーシアム協議会」(相馬正一・会長)を設立したと発表した。

同協議会は3社が共同で仕入れ、かつ出荷者への決済も協議会が一括して行うというもので、域内の卸売

通の総合エンジンニアリングの「パーソナル情報システム」(本社・港区、片桐良行・社長)がシステムサポートを行う。

全国の花き市場は地方市場が多く、市場の規模格差があつて独自の集荷力を発揮し切れない場合がある。そこで域内の卸会社同士が共同仕入をする事で集荷力を強化することを通して、協議会の特色は「決済」

品揃え機能を強め、消費者へのサービスにも結びついていくというのが今回の協議会設立の狙いだ。

協議会のシステムサポートをしてきたパーソナル情報システムの片桐社長は背書説明で「系統連携が大型化し、コスト低減のため出荷先を大都市の市場に絞り込む傾向がある」と述べた。

を3社が共同口座を設け、一括で行うこと。3社が相互保証を行い、産地への信頼を高める措置も講じている。

物流は3社が集荷した切花を埼玉川越の共同配送所に集中させ分荷する。

「北関東コンソーシアム」設立プレス発表会



協働を誓う3社トップ

今後の運営について相馬会長は本紙に対し「市場にとっては魅力的な商品が手に入り販売の多様化、集荷力の安定化に繋がり、またもろみだ。

生産者にとっても安定した出荷先が拡大するなどのメリットが考えられる」と話した。3社の取扱い規模は約90億円だが、今回のシステムで3割程度を取り扱う